
持続可能な水産養殖のための種苗認証

Seedlings Council for Sustainable Aquaculture

(SCSA 認証)

審査報告書

クライアント名
双日ツナファーム鷹島株式会社

日付 : 2018 年 11 月 16 日

認証機関名
ビューローベリタスジャパン株式会社

目次

1. クライアントに関する情報	3
2. 審査機関に関する情報	3
3. 審査結果要旨	3
4. 全般的な所見	4
5. 推奨する今後のプロセス	5
6. 付属書	6

1. クライアントに関する情報

クライアント名	双日ツナファーム鷹島株式会社 (契約番号 4245688)
クライアント ID	養殖生産者認証番号: BV-KU-FA-0004
所在地	〒859-4301 長崎県松浦市鷹島町阿翁浦免字迎 801 番地 4
認証範囲	【メンバー】 双日ツナファーム鷹島株式会社、双日ツナファーム八勝株式会社 【活動】 養殖 【拠点】 双日ツナファーム鷹島株式会社 長崎県松浦市鷹島町阿翁浦免字迎 801 番地 4 双日ツナファーム八勝株式会社 和歌山県東牟婁郡串本町大島字田代 1728 番地
認証魚種	クロマグロ Pacific bluefin tuna (Thunnus orientalis)
会社概要	双日ツナファーム鷹島株式会社は、長崎県松浦市に所在する株式会社である。双日株式会社の子会社として、2008 年 9 月に設立された。 メンバーの双日ツナファーム八勝株式会社は、2016 年 12 月に双日株式会社の 100% 子会社として設立し、丸東が行っていた事業を譲り受けた株式会社である。 資源枯渇が深刻化する中、養殖技術の向上が進んできた。双日は 30 年以上に亘りマグロの輸入を手がけてきた背景もあり、双日ツナファーム鷹島を設立し養殖に参入した。

2. 審査機関に関する情報

審査機関名称	ビューローベリタスジャパン株式会社
所在地	神奈川県横浜市中区日本大通 18 番地 KRCビル 8F
審査チーム	
佐久間 智恵子	主任審査員
審査日	2018 年 9 月 5 日 (水) ~ 7 日 (金) 双日ツナファーム鷹島株式会社 2018 年 9 月 12 (水) ~ 14 日 (金) 双日ツナファーム八勝株式会社
審査の種類	初回審査

3. 審査結果要旨

審査規格	持続可能な水産養殖のための種苗認証(SCSA 認証) 原則と基準 ver.1.4
結果	
不合格	3 件 全て解除済み 2.2.2.4 / 6.1.1 / 7.1.4
認証単位	認証範囲参考
所有の動き	種苗購入 → 養殖 → 成魚販売
CoC への接続点に	成魚の販売・・・購入した種苗を養殖した成魚の販売

ついて	締め処理後出荷
-----	---------

4. 全般的な所見

全般的な所見	
I. 種苗生産者、養殖業者に対する原則と基準	
1. 種苗	<p>双日ツナファーム鷹島が、クロマグロの種苗を購入する。種苗は双日ツナファーム八勝の生簀で初期育成を行い、全数を鷹島へ移動し養殖を行う。</p> <p>種苗購入時に種苗経歴証明書を手し、確認の上飼育を行う予定である。</p> <p>親魚の DNA 鑑定のためのサンプル冷凍保存は、成魚出荷時に一部保管を今後開始する。</p>
2. 対象人工種苗飼育管理	<p>識別・分別は、年産、生簀ごとのロット管理により行い、飼育管理記録が維持されている。死亡魚数を含め、尾数情報も記録されている。</p> <p>トレーサビリティに関しては、仕入先→八勝→鷹島→販売先の流れであるが、トレースバックが出来る情報が保管されている。八勝では飼育段階初期のため、魚体への負荷を考慮し取り上げての尾数カウントは行わず、八勝から鷹島へ移動する際にビデオでの尾数カウントを実施している。記録データの修正方法は確立されており、今回その手順を文書化した。</p> <p>水産用医薬品は、八勝のみで使用している。購入記録は保管され、投薬記録は飼育管理記録に全て情報が入力されている。医薬品は施錠可能な保管庫に置き、適切な管理がなされている。</p> <p>逃亡への対策は、飛び出し防止用ネットや網破れの確認により実施している。成育段階や状況に応じて潜水確認の頻度を決め、目視確認を徹底している。</p> <p>魚類福祉についての勉強会を行い、魚へのストレスや損傷を極力抑え適切な環境での飼育、出荷を実施している。</p>
3. 環境配慮	<p>養殖における環境配慮は、双日の管理に基づく環境ガバナンスにより行われている。豊かな漁場環境を維持できる場所にあり、水温、DO、透明度は1時間ごとに計測しモバイルにてデータ確認も行っていった。水産試験場とも連携し、表層水温、底質等の情報も定期的に計測を行っている。</p> <p>飛び出し防止用ネット、蓋網による逃亡防止、潜水土による設備や魚の状態の確認がなされていた。</p> <p>法令に基づく医薬品や防汚剤の使用、死亡魚の処理を行っていた。</p> <p>環境配慮において、適切な管理体制の下実施されていると判断できる。</p>
4. 飼・餌料	<p>鷹島、八勝いずれの使用分も鷹島で購入を行う。飼料の安全性、品質を証明する書類を手ししていた。生餌は国内産の魚のみを購入している。購入内容は産地記載のある伝票を受領、保管していた。</p> <p>給餌効率は、鷹島、八勝いずれにおいても調査、検証を行いながら効率化を進めていた。</p>
5. 食品安全	適切な水環境において養殖を行っている。

	<p>廃棄物処理は法令に従い実施している。</p> <p>衛生動物・害虫による汚染は、鷹島では被害を受けない環境にあった。八勝では以前に多少の被害が出たことを受け、シート使用やトラップ設置を行い、適切な対応をとっていた。</p> <p>魚の取り扱いは、魚体にストレスを与えない方法をとっている。八勝は魚体の小さい段階での扱いであるため、損傷の少ない方法で受け渡しを行っている。さらにストレスを軽減させる用具を使用している。鷹島では、電気鋸使用後きわめて短時間で処理がなされ、ストレスを軽減する方法であった。</p>
6. 安全衛生・労務管理	<p>双日グループの管理に基づき、安全衛生や労務管理の方針設定、内部監査、検証、分析等を行う体制にある。</p> <p>八勝で救命胴衣、長靴の使用が徹底されていない状況が確認された。その後、状況の確認、勉強会とディスカッション実施の上、適切な運用方法の共有がなされた報告があった。また、以降定期的な現場確認も実施するとのことであった。そのため、安全対策の徹底がなされる状況にあると判断する。</p>
7. 社会経済的側面	<p>双日グループの環境方針で長期目標、SDGs への目標等が設定されており、これに基づき運営がなされる体制であった。また、コンプライアンス相談窓口があり社員に情報共有がなされている。</p> <p>鷹島、八勝とも、法令順守の下、地域社会や利害関係者とコミュニケーションをとり、良好な関係を維持して養殖事業を実施している。</p>

その他、
特に無し。

5. レビュー及び認証決定プロセス

審査レポートの確認と認証決定	
クライアントレビュー	2018/11/16 ~2018/11/20 終了
ピアレビュー	2018/12/10 終了 三重大学 鈴木幸子氏
パブリックコメント	2018/12/17 終了 問い合わせ 0 件
認証決定	2018/12/18 佐藤 賢也
認証有効期限	2023/12/17

6. 推奨する今後のプロセス

推奨する今後のプロセス	
初回審査	2018 年 9 月実施
第一回年次審査	2019 年 7 月～9 月に実施

第二回年次審査	2020年7月～9月に実施
第三回年次審査	2021年7月～9月に実施
第四回年次審査	2022年7月～9月に実施
再認証審査	2023年7月～9月に実施

7. 付属書

付属書
付属書 1：原則と基準チェックリスト（チェック結果）

8. クライアントレビューフィードバック

2018/11/22 会社概要修正コメントあり 他は了承